

航 空 自 衛 隊 仕 様 書				
仕様書の 種 類	内容による分類	役 務 仕 様 書		
	性質による分類	個 別 仕 様 書		
物品番号		仕 様 書 番 号		
品 名 又は 件 名	膨張タンク等補修工事	武分基 L P S - R 0 0 0 2 0		
		承 認	令和 8 年 7 月 3 0 日	
		作 成	令和 8 年 7 月 2 9 日	
		改 正	令和 年 月 日	
			令和 年 月 日	
		作成部隊等名	中高群第 2 高射隊	

1 総則

1.1 適用範囲

この仕様書は、航空自衛隊武山分屯基地における膨張タンク等補修工事（以下“工事”という。）に適用する。

1.2 用語及び定義

この仕様書で用いる主な用語及び定義は、C & L P S - Y 0 0 0 0 7 の 1.2 による。

1.3 引用文書等

この仕様書に引用する次の文書は、この仕様書に規定する範囲内において、この仕様書の一部をなすものであり、入札書及び見積書の提出時における最新版とする。

なお、引用文書に定める内容がこの仕様書に定める内容と相違する場合は、この仕様書に定める内容が優先する。

a) 仕様書

C & L P S - Y 0 0 0 0 7 調達品等一般共通仕様書

b) 関連文書

公共建築工事標準仕様書（令和 8 年改正）

公共建築改修工事標準仕様書（令和 8 年改正）

c) その他

営繕工事写真撮影要領（令和 5 年改正）

2 一般事項

- 工事の実施に関する責任は、契約の相手方が有する。
- 工事に関する事項において、部隊との調整が必要な場合には、監督官を通じ実施する。
- 契約の相手方は、基地等における写真撮影について、契約工事に必要な場合及び内容のみとし、都度、監督官等の許可を得る。
- 契約の相手方は、工事に関するデータについて、ファイル交換ソフトがインストールされていないパソコン等を使用するものとし、必要書類の提出後、当該データを消去し、当該データを保持しない。

件 名	膨張タンク等補修工事
-----	------------

3 役務に関する要求

3.1 工事実施場所

航空自衛隊武山分屯基地（図 1 のとおり。）

3.2 工事期間

契約締結日から令和 9 年 3 月 3 1 日

3.3 工事の内容

- a) 空調用膨張タンクの撤去及び設置
- b) 配管類の撤去及び設置
- c) 細部は図 2 ～図 1 1 のとおり。

3.4 項目・数量等

3.4.1 機械設備工事

a) 撤去工事

撤去工事の項目・数量等については、表 1 によるものとする。

表 1－撤去工事

項目	仕様等	数量	単位	備考
タンク類撤去	密閉形隔膜式膨張タンク タンク容量 200L 以下 カバー及び保温材含む。 再使用しない	1.0	基	
配管用炭素鋼鋼管（白）撤去	機械室・呼び径 20A 冷温水・ねじ接合 再使用しない	4.4	m	
配管用炭素鋼鋼管（白）撤去	機械室・呼び径 32A 冷温水・ねじ接合 再使用しない	10.2	m	
配管保温撤去	呼び径 20A・冷温水 機械室 グラスウール・厚 30mm	0.4	m	
配管保温撤去	呼び径 32A・冷温水 機械室 グラスウール・厚 40mm	9.1	m	
機器類保温撤去	膨張タンク グラスウール・厚 25mm カラー亜鉛鉄板	2.6	m ²	

b) 配管工事

配管工事の項目・数量等については、表 2 によるものとする。

表 2－配管工事

項目	仕様等	数量	単位	備考
配管用炭素鋼鋼管	機械室・呼び径 20A 冷温水・ねじ接合	4.2	m	

件 名	膨張タンク等補修工事
-----	------------

表 2－配管工事の続き

項目	仕様等	数量	単位	備考
配管用炭素鋼鋼管	機械室・呼び径 25A 冷温水・ねじ接合	0.2	m	
配管用炭素鋼鋼管	機械室・呼び径 32A 冷温水・ねじ接合	10.2	m	

c) 配管附属品

配管附属品の項目・数量等については、表 3 によるものとする。

表 3－配管附属品

項目	仕様等	数量	単位	備考
圧力計		1.0	個	
ストレーナ	呼び径 20A	1.0	個	
仕切弁	呼び径 20A	2.0	個	
仕切弁	呼び径 32A	1.0	個	
減圧式逆流防止弁	呼び径 20A	1.0	個	

d) 保温工事

保温工事の項目・数量等については、表 4 によるものとする。

表 4－保温工事

項目	仕様等	数量	単位	備考
配管に用いる保温	呼び径 20A・冷温水 機械室 グラスウール・厚 30mm	0.4	m	
配管に用いる保温	呼び径 32A・冷温水 機械室 グラスウール・厚 40mm	9.1	m	
機器類保温	膨張タンク グラスウール・厚 25mm カラー亜鉛鉄板	2.7	m ²	

e) コンクリート工事

コンクリート工事の項目・数量等については、表 5 によるものとする。

表 5－コンクリート工事

項目	仕様等	数量	単位	備考
コンクリート	手練り・無筋・スランプ 18	0.1	m ³	
ストレーナ	呼び径 20A	0.5	m ²	

f) 空気調和設備工事

空気調和設備工事の項目・数量等については、表 6 による。

表 6－空気調和設備工事

項目	仕様等	数量	単位	備考
タンク類据付け	密閉形隔膜式膨張タンク タンク容量 200L 以下	1.0	基	

件 名	膨張タンク等補修工事
-----	------------

3.4.2 発生材処理

発生材処分の項目・数量等については、表 7 よるものとする。

表 7ー発生材処理

項目	仕様等	数量	単位	備考
発生材運搬処分	金属類以外	1.0	式	
発生材運搬	金属類（指定場所まで）	1.0	式	

3.5 作業時間

平日の 8 時 15 分から 17 時 00 分を基準とし、これによりがたい場合は、監督官と協議するものとする。

3.6 材料

工事に伴う使用材料は、仮設材を除きすべて新品とし、製造所から出荷された状態のものを使用するとともに、表 8 の No.5 に示す証明書を提出先に提出するものとし、監督官から承認を得たものを使用するものとする。また、見本等の確認が必要となる場合は提示し、承認を受けるものとする。

3.7 発生材

- a) 契約の相手方は、本工事の施工により生じた発生材のうち、官側に引き継ぐもの（金属ごみ）は指定の場所に運搬して種類ごとに整理して置き、表 8 の No.8 に示す調書を添えて監督官に確認を受ける。
- b) 契約相手方は、官側に引き渡しを要しない発生材（安定型混合廃棄物）は全て場外処分とし、関係法令等に基づき、適切に処分するものとする。また、産業廃棄物として処分した場合は、表 8 の No.10 に示す管理表を提出先に提出する。

3.8 その他

この仕様書に記載されていない事項で関係法令等上、当然実施しなければならない事項については、契約の相手方が関係法令等に基づき実施する。

4 材料検査

材料検査は、監督官立ち合いのもと、規格、数量、黒板文字が明確に確認できるように撮影し、写真帳及び黒板の記載事項を整合させる。

5 品質保証

本工事の保証期間は、完成検査を終了した日から 1 年間とし、保証期間中に生じた欠陥による破損等は、契約の相手方の負担で速やかに補修及び交換を行う。

6 監督・検査

監督及び検査は、契約担当官が定める監督・検査実施要項による。

7 その他の指示

7.1 提出書類

提出する書類については、表 8 のとおり。

件 名	膨張タンク等補修工事
-----	------------

表 8－提出書類

No.	書類名称	提出時期	部数	提出先	備考
1	工程表	契約締結後，速やかに	1	監督官等	
2	現場代理人等通知書	同上	1	監督官等	略歴書，資格免許等の写しを添付
3	着工届	着工日の2日前までに	1	監督官等	
4	材料検査願	同上	1	監督官等	
5	出荷証明書	同上	各 1	監督官等	
6	工事打合せ簿	その都度	1	監督官等	
7	完成通知及び完成検査願書	完成検査前	1	監督官等	
8	発生材調書	同上	1	監督官等	
9	※写真帳	完成検査後	1	第2 高射隊 業務小隊施設班	契約成果物として完成検査官の検査を受けた後
10	※産業廃棄物管理票の写し	場外処分をした場合	1	第2 高射隊 業務小隊施設班	A 票及び B 2 票の写し
11	引渡書	完了検査後，速やかに	1	監督官等	

注) ※以外は，監督官が指示する定型様式にて作成する。

7.2 安全管理

契約の相手方は，安全管理を十分に行い，万が一，事故等が発生した場合は，監督官に報告し速やかに処置しなければならない。

7.3 写真撮影要領

- 写真は，国土交通省制定「営繕工事写真撮影要領」に基づき撮影するものとし，撮影した写真は写真帳に整理する。
- 撮影に際し，デジタル写真以外を使用する場合は，監督官に承諾を得たうえで，使用する。
- 隠ぺい箇所の撮影は，監督官の立ち合いのうえで撮影するものとし，その他監督官が指示する場所を撮影する。

7.4 秘密の保持

契約の相手方は，契約の履行に伴い，秘密に関する事項を知り得た場合には，これを利用し，または，第三者に漏らしてはならない。

7.5 補償

契約の相手方は，工事实施に際し損害を与えないための必要な措置をとるとともに，過失により，損傷を与えた場合には，速やかに監督官に報告し，契約の相手方の責任により無償にて復旧する。

8 基地内共通事項

- 分屯基地内の通行及び行動は，法令及び分屯基地で定めた規則を遵守する。
- 契約の相手方は，分屯基地及び分屯基地の施設への立入りに関し，規則に基づく所要の手続きを実施し，分屯基地司令等の許可を受ける。また，本工事に関係しない場所

件 名	膨張タンク等補修工事
-----	------------

への立ち入りは厳禁とする。

- c) 契約の相手方は、工事履行の場所において分屯基地の電力及び給水を使用する必要がある場合は、監督官と調整する。
- d) 喫煙、飲食等の場所については、監督官の指示を受ける。
- e) 上記以外の細部事項については、監督官の指示を受ける。

9 その他

9.1 本工事は、完全週休2日制（土日）の試行対象工事である。

9.2 週休2日の考え方

- a) 完全週休2日制（土日）とは、対象期間の全ての週において、原則として土曜日及び日曜日を現場閉所（現場休息）日に指定し、2日以上現場閉所（現場休息）を行ったと認められる状態をいう。ただし、対象期間の日数が7日に満たない週においては、当該週の土曜日及び日曜日の合計日数以上の現場閉所（現場休息）を行ってれば、達成しているとみなす。また、土曜日及び日曜日に現場作業を行うこととされている場合は、受発注者間で協議した上で、当該曜日に代わる曜日を現場閉所日（現場休息日）に指定するものとする。

月単位の週休2日とは、対象期間内における全ての月が現場閉所（現場休息）日数の割合が28.5%（8日／28日）以上の水準に達する状態をいう。ただし、暦上の土曜日及び日曜日の日数の割合が28.5%に満たない月においては、当該月の土曜日及び日曜日の合計日数以上の現場閉所を行っている状態をいう。

通期の週休2日とは、対象期間内において、28.5%（8日／28日）以上の現場閉所（現場休息）を行ったと認められることをいう。

なお、降雪、出水期、猛暑日等による予定外の現場閉所についても、現場閉所日数に含めるものとする。

- b) 対象期間は、工事着手日から工事完成日までの期間とするが、そのうち、年末年始6日間及び夏季休暇3日間、工場製作のみの期間、工事全体の一時中止期間、受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間などは含まない。
- c) 現場閉所日とは、巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、1日を通して現場及び現場事務所が閉所された日をいう。

9.3 現場閉所実績報告書

受注者は、毎月末までに現場閉所実績報告書を作成し、翌月10日までに監督官へ提出するものとする。ただし、工事完成月について、監督官が指定する日までに現場閉所実績報告書を提出するものとする。

9.4 総合工事工程表の作成

受注者は、発注時の設計図書や発注者から明示される事項を踏まえ、総合工事工程表を作成する。

総合工事工程表を作成するに当たっては、当該工事の規模及び難易度、地域の実情、自然条件、工事内容、施工条件等のほか、建設工事に従事する者の週休2日の確保等、下記条件を適切に考慮する。

- a) 建設工事に従事する者の休日（週休2日に加え、祝日、年末年始及び夏季休暇）の確保

件 名	膨張タンク等補修工事
-----	------------

- b) 建設業者が施工に先立って行う労務・資機材の調達，調査・測量，現場事務所の設置等の「施工準備期間」
- c) 施工終了後の自主検査，後片付け，清掃等の「後片付け期間」
- d) 降雪，出水期，猛暑日等の作業不能日数

9.5 工事工程の共有

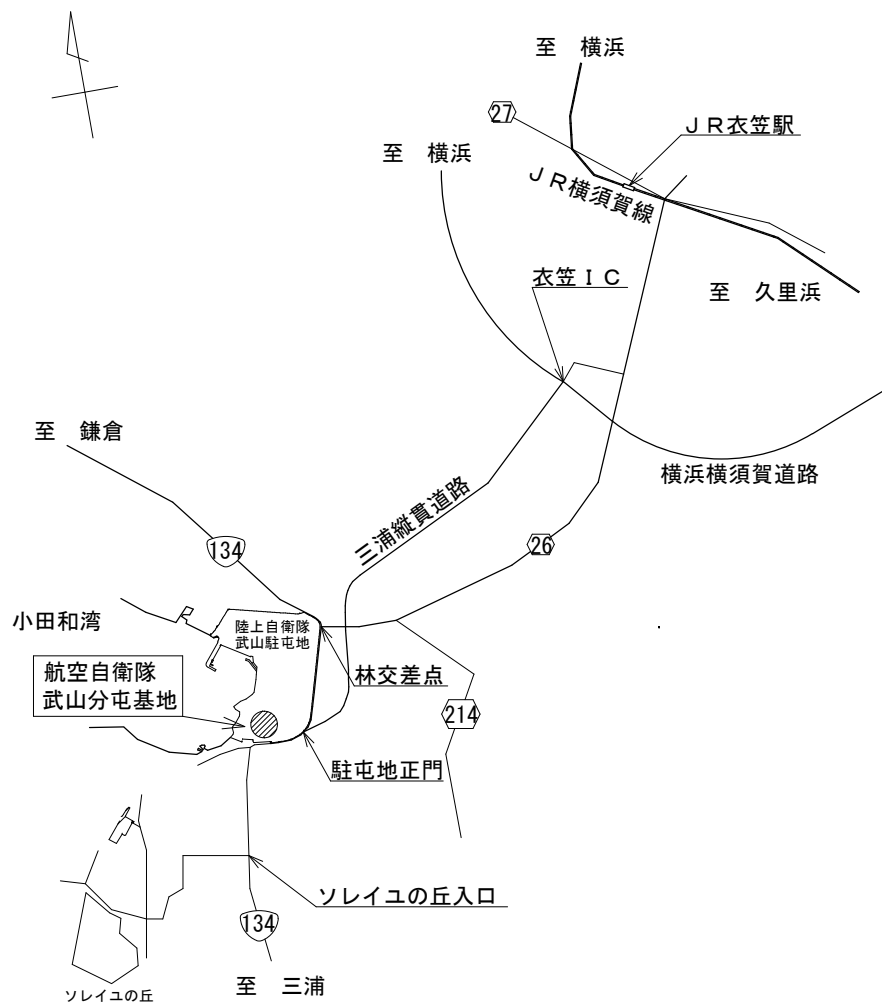
- a) 工事において，受発注者間で工事工程のクリティカルパスを共有し，工程に影響する事項がある場合には，その事項の処理対応者を明確にするものとする。
- b) 円滑な協議を行うため，施工当初において工事工程（特にクリティカルパス）と関連する案件の処理期限（誰がいつまでに処理し，どの作業と関連するのか）について，受発注者で共有するものとする。
- c) 工事工程の共有に当たっては，必要に応じて下請け業者（専門工事業者等の技術者等）を含めるなど，共有する工程が現場実態にあったものとなるよう配慮するものとする。
- d) 工程に変更が生じた場合には，その要因と変更後の工事工程について受発注者間で共有すること。また，工程の変更理由が受注者の責によらない場合は，適切に工期の変更を行うものとする。

9.6 現場閉所の達成状況及び精査

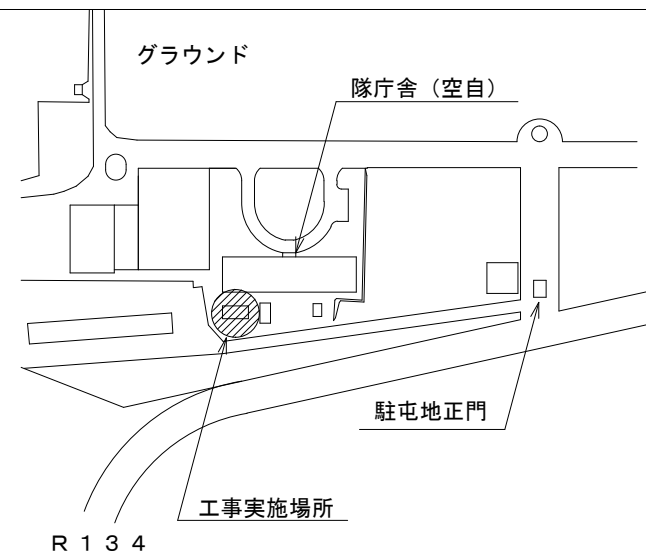
対象期間における全ての週において完全週休２日（土日）が達成できていない又は月単位の週休２日が達成できていない場合は，補正した労務費（公共工事設計労務単価，電気通信技術者，電気通信技術員及び基幹設備据付工），現場管理費及び市場単価等を，請負代金額の変更により減額するものとする。

10 問い合わせ

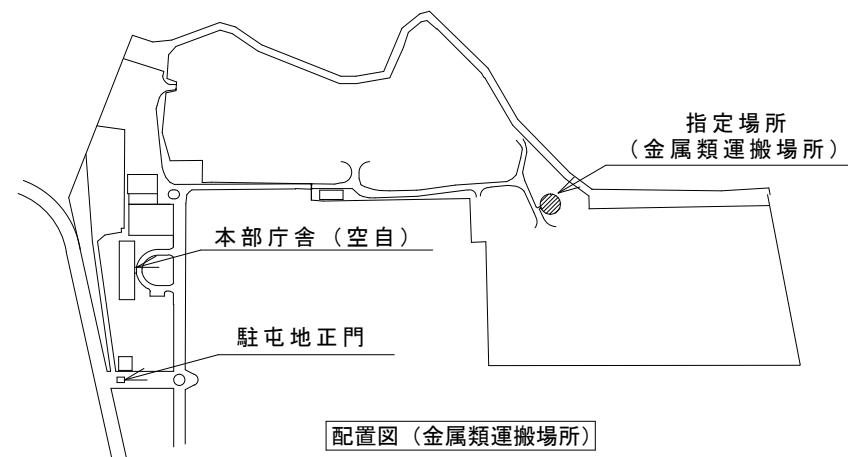
この仕様書についての問い合わせ及び監督官との調整は，中部高射群第２高射隊業務小队施設班（代表番号０４６－８５６－１２９１（内線５３６）担当：米山）とする。



案内図



配置図 (工事実施場所)

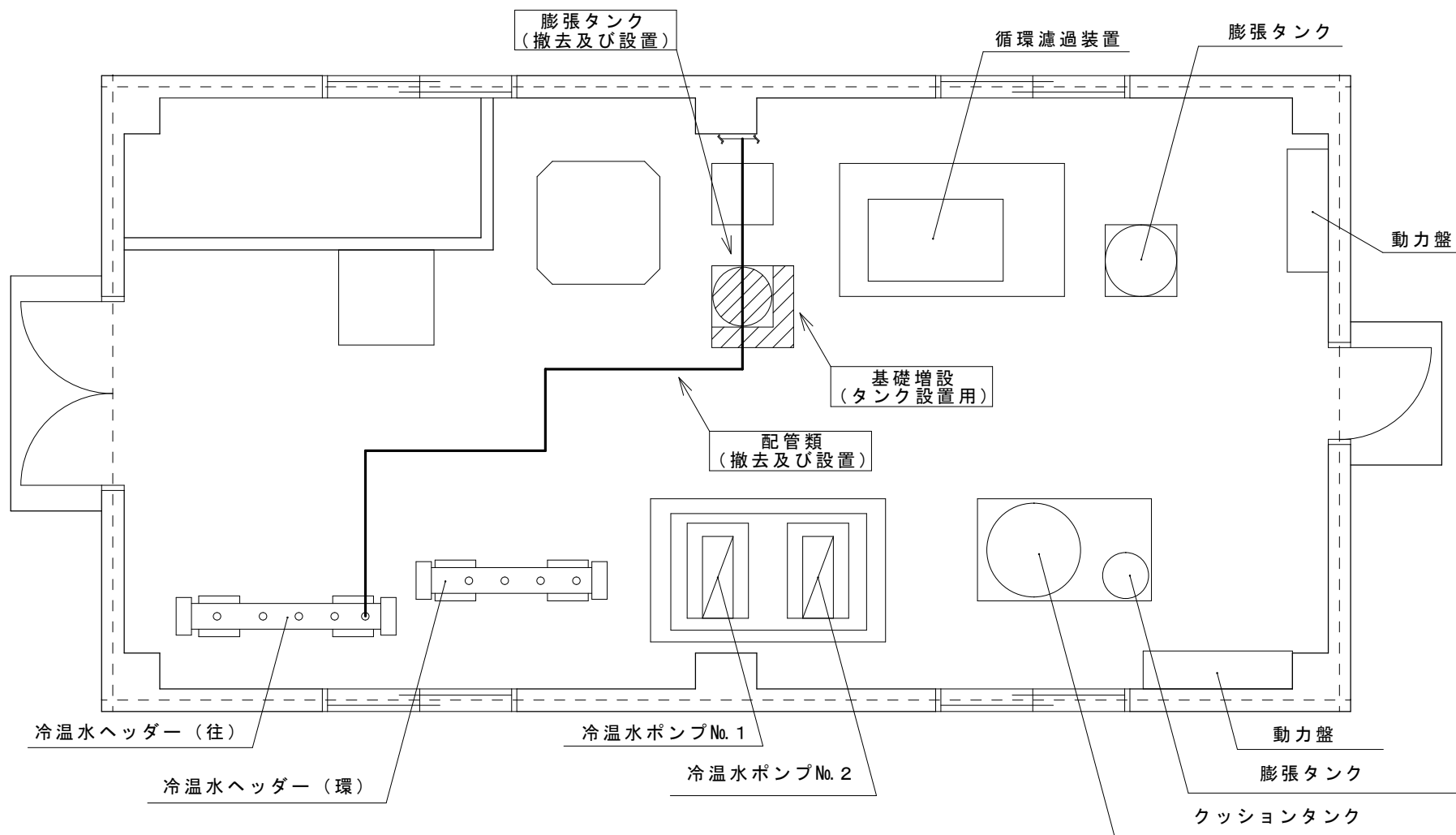


配置図 (金属類運搬場所)

許可無く工事関係者以外に図面を貸出、複製及び閲覧させてはならない。

件名	膨張タンク等補修工事				
図面名	案内図・配置図				
縮尺	N/S	作成年月	H8.7	図面番号	1/11
基地名	武山分屯基地				

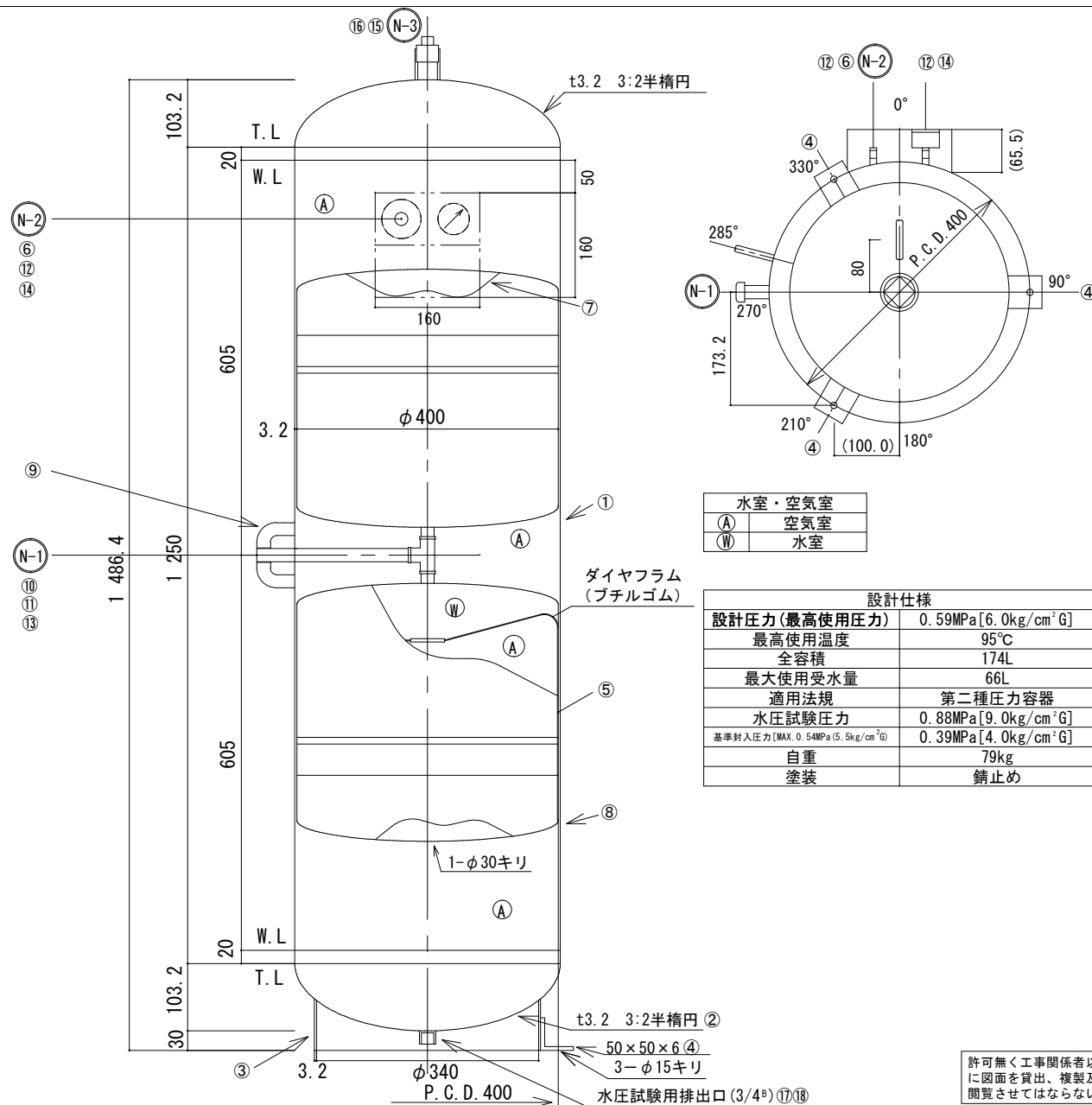
図2-平面図（機械室）
9



許可無く工事関係者以外
に図面を貸出、複製及び
閲覧させてはならない。

件 名	膨張タンク等補修工事				
図 面 名	平面図（機械室）				
縮 尺	1/60	作成年月	R8.7	図面番号	2/11
基 地 名	武山分屯基地				

図 3 - 機器図 (既設)



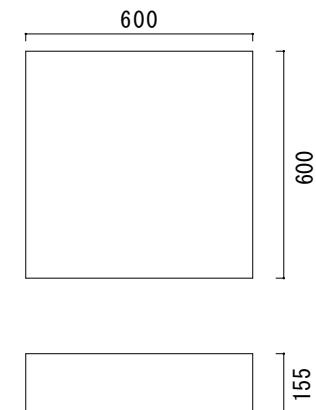
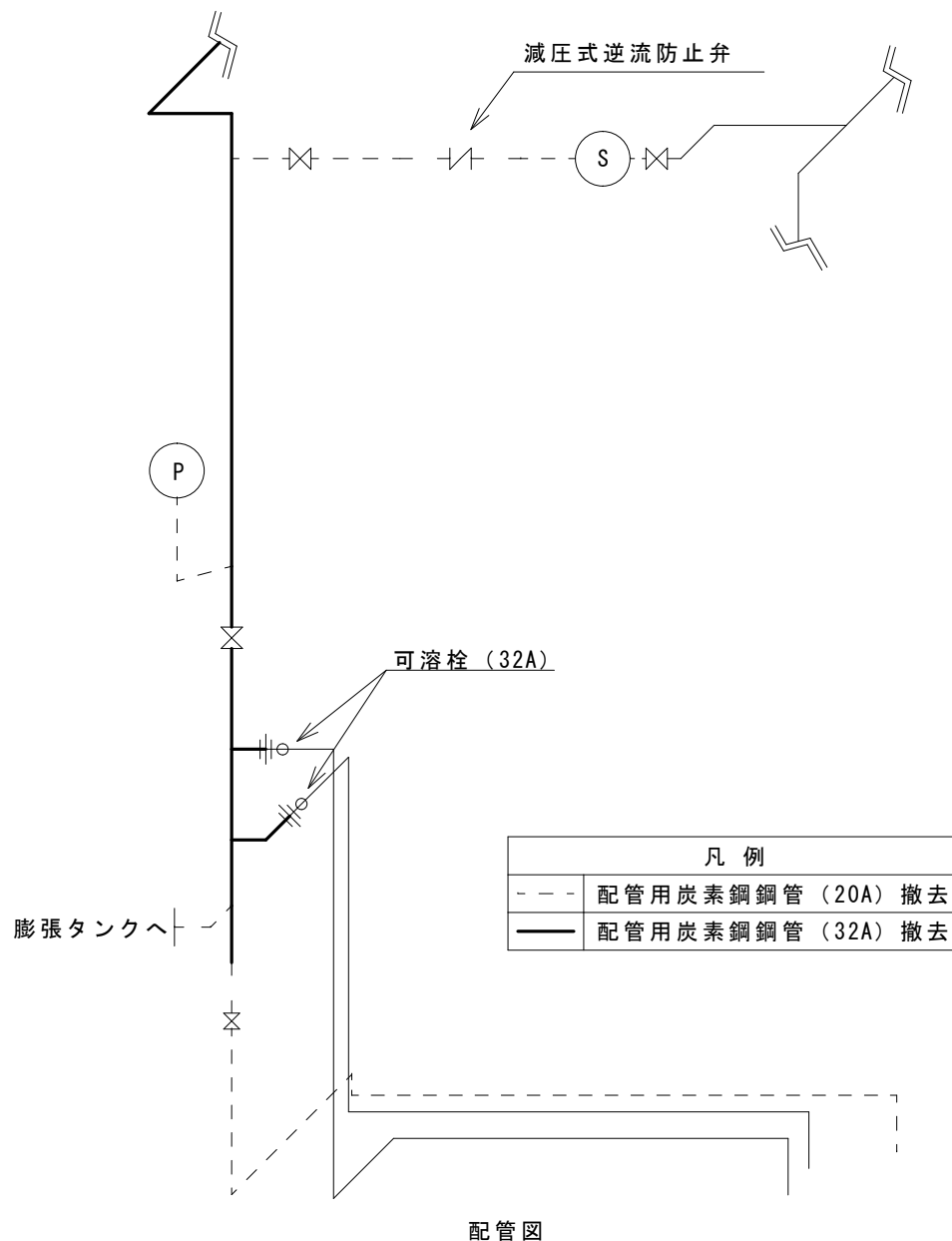
ノズルリスト				
記号	用途	サイズ	数量	適用
N-1	システム接続口	1/2"	1	PT1/2", キャップ付
N-2	空気封入口	1/8"	1	空気封入弁付
N-3	水圧テスト口	1"	1	プラグ付

冷暖房用膨張タンク AX-80V			日立金属株式会社 桑名工場	
品番	品名	数量	材質	備考
①	胴板	1	SS400	t3.2
②	鏡板	2	SS400	t3.2 2:1 半楕円
③	スカート	1	SS400	t3.2
④	ベース	3	SS400	L50×50×6
⑤	インターナルタンク	2	—	—
⑥	空気封入弁	1	BSBM	—
⑦	銘板	1	AL	—
⑧	スペーサー	4	SS400	—
⑨	吊りフック	2	SS400	$\phi 13$
⑩	チーズ	1	SUS400	1/2" N-1
⑪	ニップル	1	SUS304TP	1/2" N-1
⑫	ソケット	2	SS400	1/8"
⑬	キャップ	1	PCMB270	1/8"
⑭	圧力計	1	—	—
⑮	ソケット	1	SS400	1" N-3
⑯	プラグ	1	PCMB270	1" N-3
⑰	ソケット	1	SS400	3/4"
⑱	プラグ	1	SS400	3/4"

件 名	膨張タンク等補修工事				
図 面 名	機器図（既設）				
縮 尺	N/S	作 成 年 月	H8. 7	図面番号	3/1
基 地 名	武山分屯基地				

許可無く工事関係者以外に図面を貸出、複製及び閲覧させてはならない。

図 4-配管系統図（配管撤去 1）



凡 例	
	タンク基礎（既設部分）

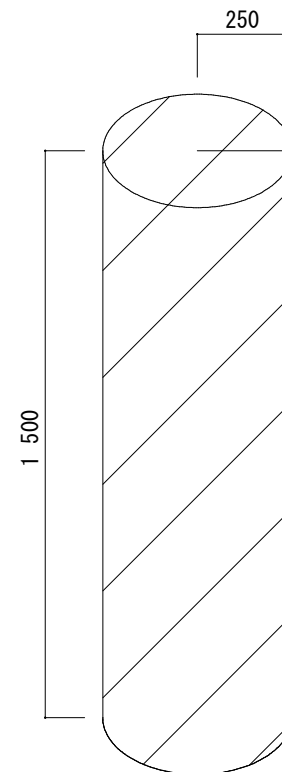
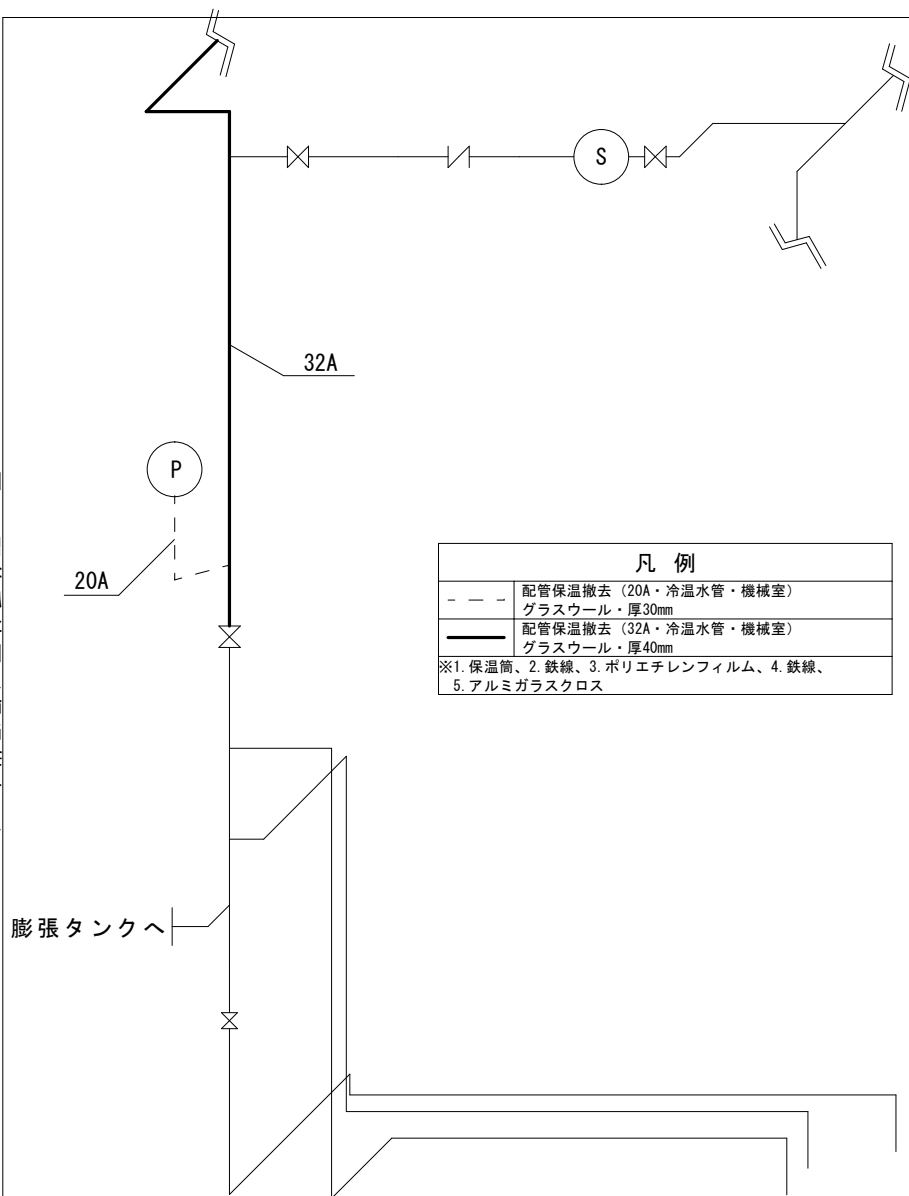
タンク基礎図

許可無く工事関係者以外に図面を貸出、複製及び閲覧させてはならない。

件 名	膨張タンク等補修工事				
図 面 名	配管系統図（配管撤去 1）				
縮 尺	1/20	作成年月	H8. 7	図面番号	4/11
基 地 名	武山分屯基地				

図 5-配管系統図（保温撤去 1）

12

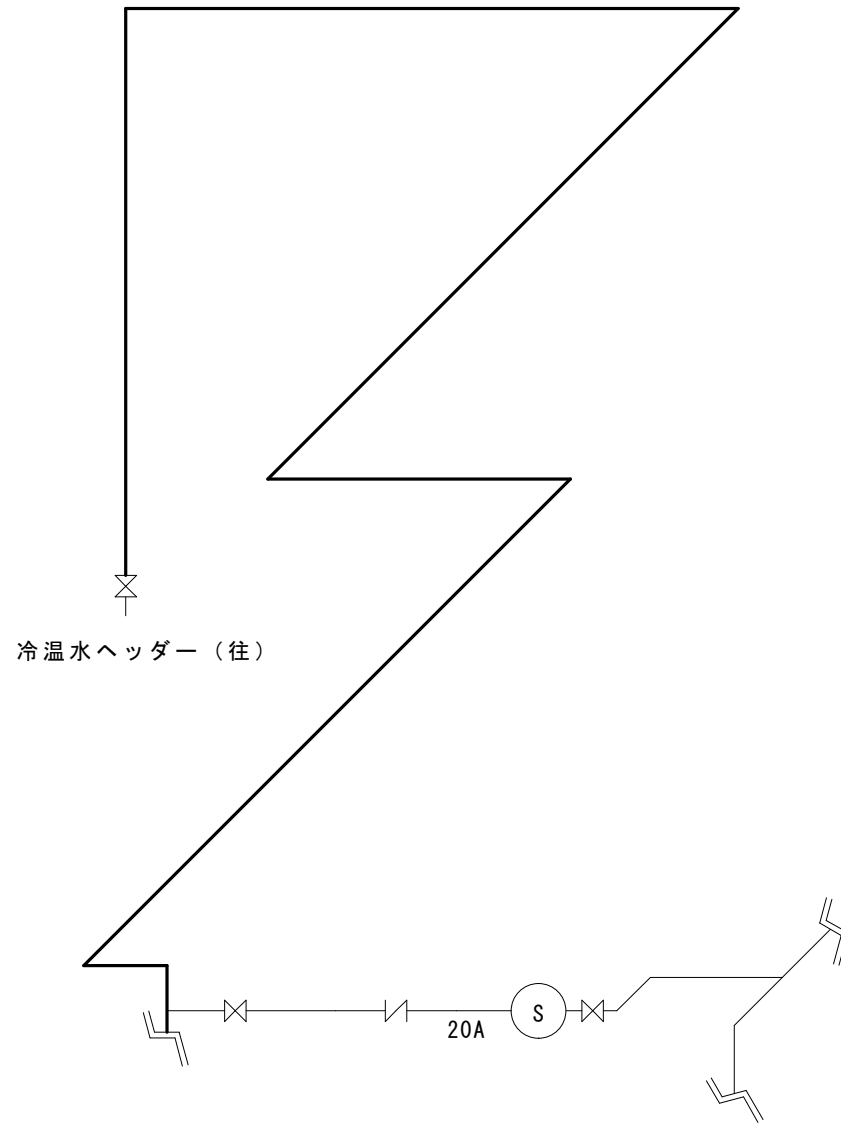


凡 例	
	機器類保温撤去（膨張タンク） グラスウール・厚25mm・カラー亜鉛鉄板0.35mm

許可無く工事関係者以外
に図面を貸出、複製及び
閲覧させてはならない。

件 名	膨張タンク等補修工事				
図 面 名	配管系統図（保温撤去 1）				
縮 尺	1/20	作成年月	H8.7	図面番号	5/11
基 地 名	武山分屯基地				

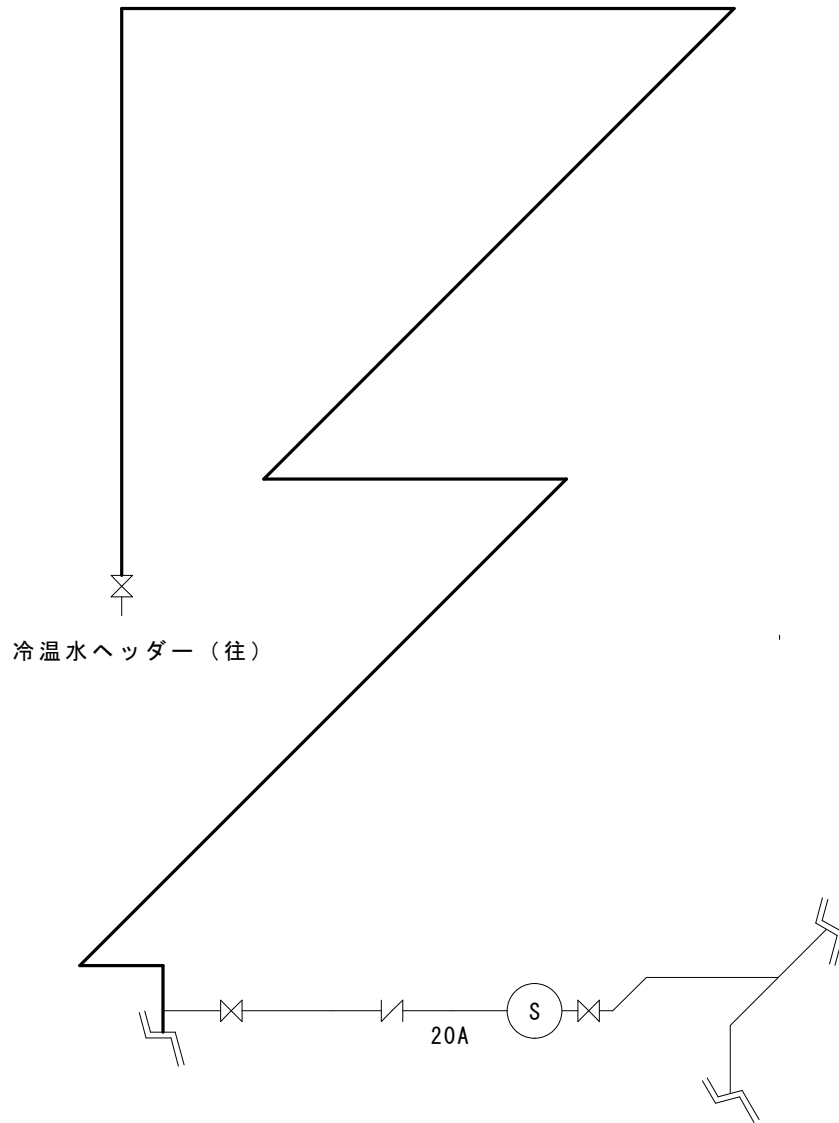
図 6-配管系統図（配管撤去 2）
13



凡 例	
—	配管用炭素鋼鋼管（32A）

件 名	膨張タンク等補修工事				
図 面 名	配管系統図（配管撤去 2）				
縮 尺	1/20	作 成 年 月	H8.7	図面番号	6/11
基 地 名	武山分屯基地				

許可無く工事関係者以外
に図面を貸出、複製及び
閲覧させてはならない。



凡 例	
	配管保温撤去（32A） グラスウール・厚40m
※1. 保温筒、2. 鉄線、3. ポリエチレンフィルム、4. 鉄線、 5. アルミガラスクロス	

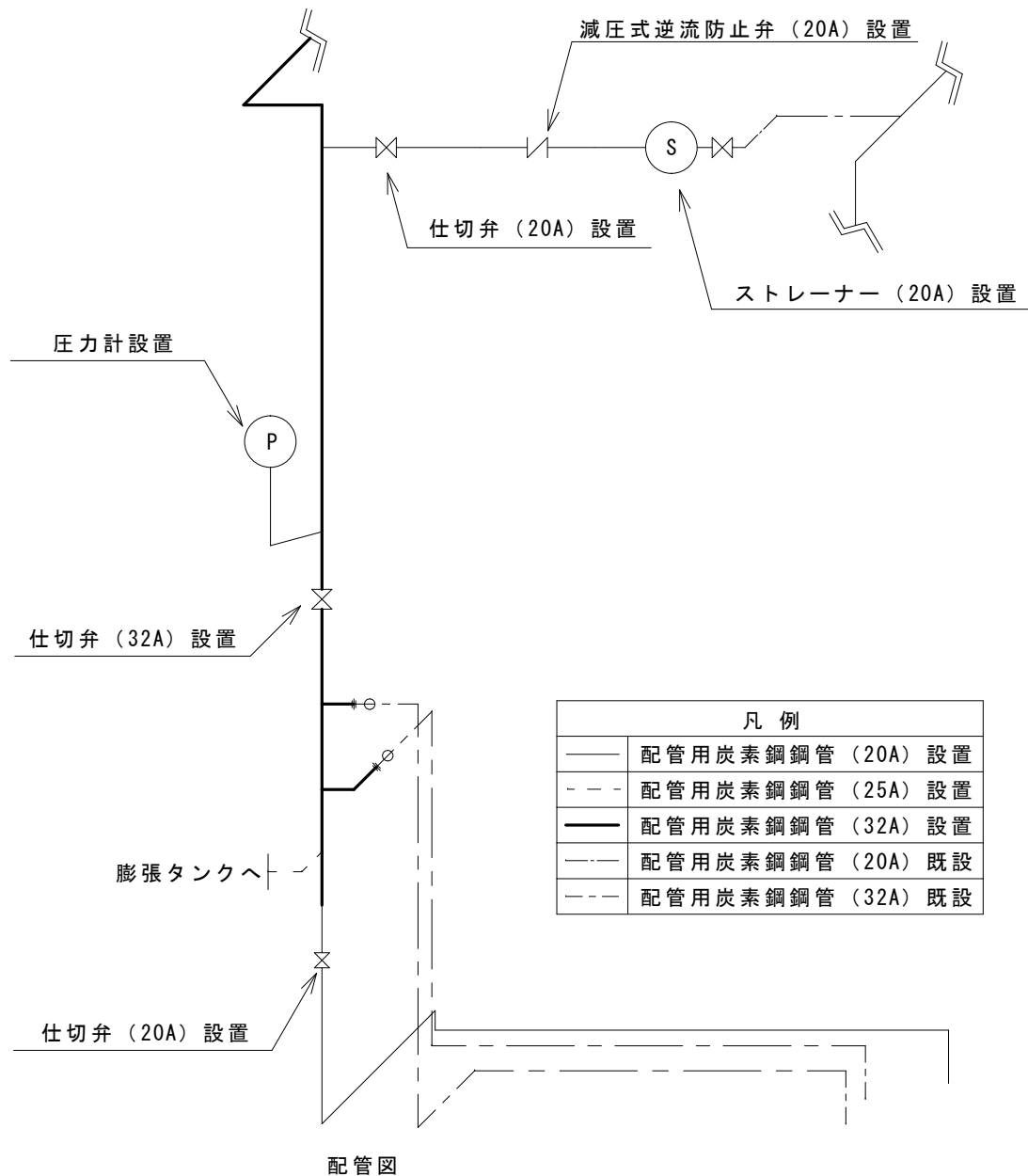
件 名	膨張タンク等補修工事				
図 面 名	配管系統図（保温撤去2）				
縮 尺	1/20	作成年月	H8.7	図面番号	7/11
基 地 名	武山分屯基地				

許可無く工事関係者以外
に図面を貸出、複製及び
閲覧させてはならない。

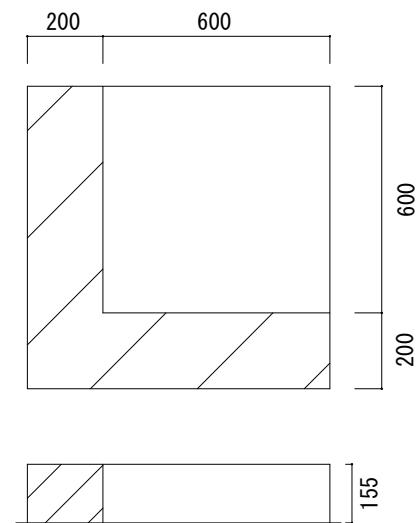
図 7-配管系統図（保温撤去2）
14

図 8-配管系統図（配管設置 1）

15



凡 例	
——	配管用炭素鋼鋼管（20A）設置
---	配管用炭素鋼鋼管（25A）設置
——	配管用炭素鋼鋼管（32A）設置
---	配管用炭素鋼鋼管（20A）既設
---	配管用炭素鋼鋼管（32A）既設



凡 例	
	タンク基礎（既設部分）
///	タンク基礎（増設部分）

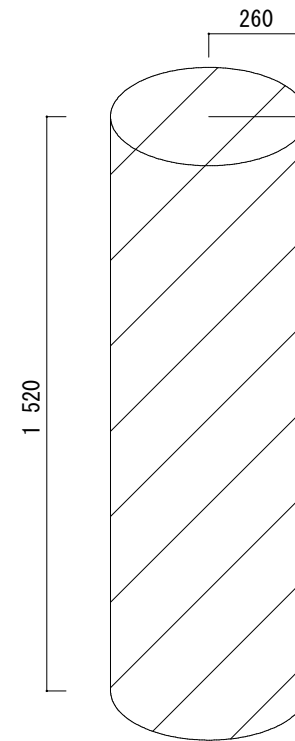
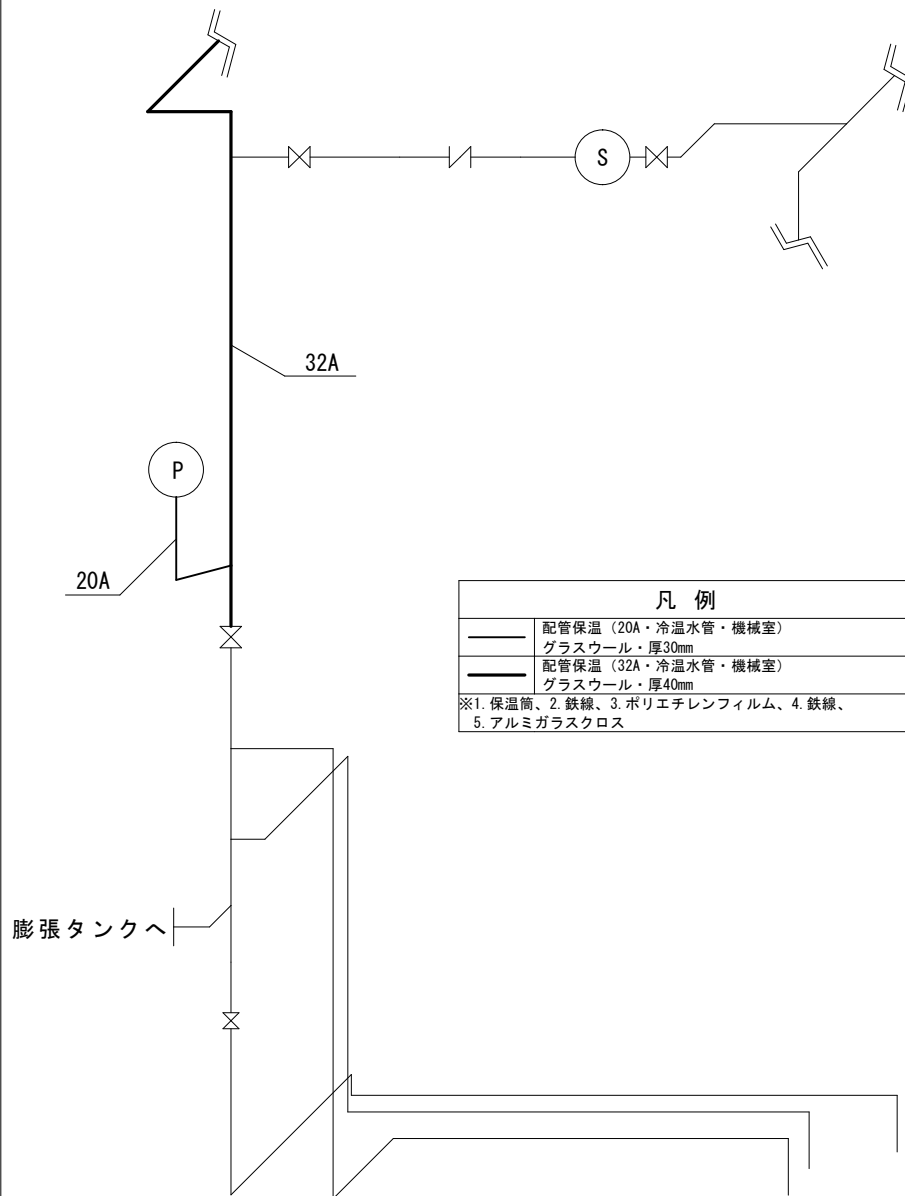
タンク基礎図

許可無く工事関係者以外に図面を貸出、複製及び閲覧させてはならない。

件 名	膨張タンク等補修工事				
図 面 名	配管系統図（配管新設 1）				
縮 尺	1/20	作成年月	H8.7	図面番号	8/11
基 地 名	武山分屯基地				

図 9-配管系統図（配管保温 1）

16

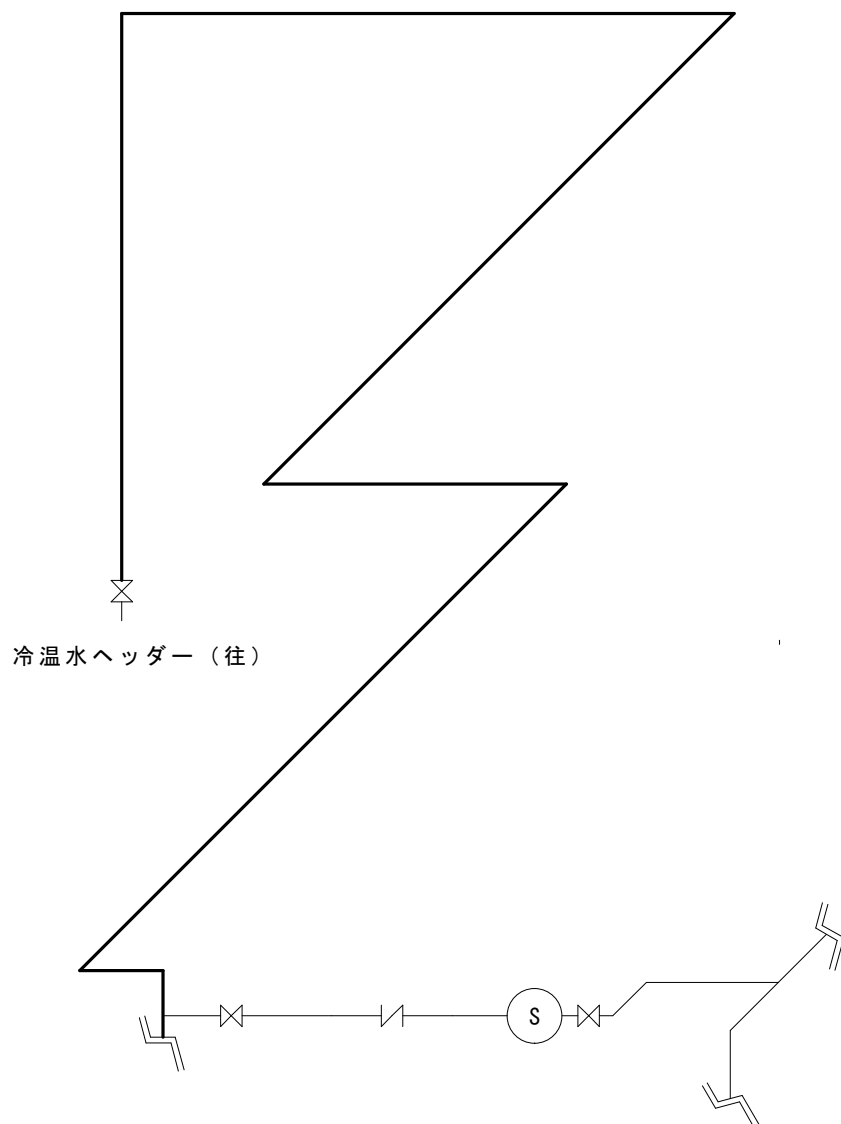


凡 例	
	機器類保温（膨張タンク） グラスウール・厚25mm・カラー垂鉛鉄板

件 名	膨張タンク等補修工事				
図 面 名	配管系統図（配管保温 1）				
縮 尺	1/20	作 成 年 月	H8.7	図面番号	9/11
基 地 名	武山分屯基地				

許可無く工事関係者以外に図面を貸出、複製及び閲覧させてはならない。

図 10-配管系統図（配管新設 2）



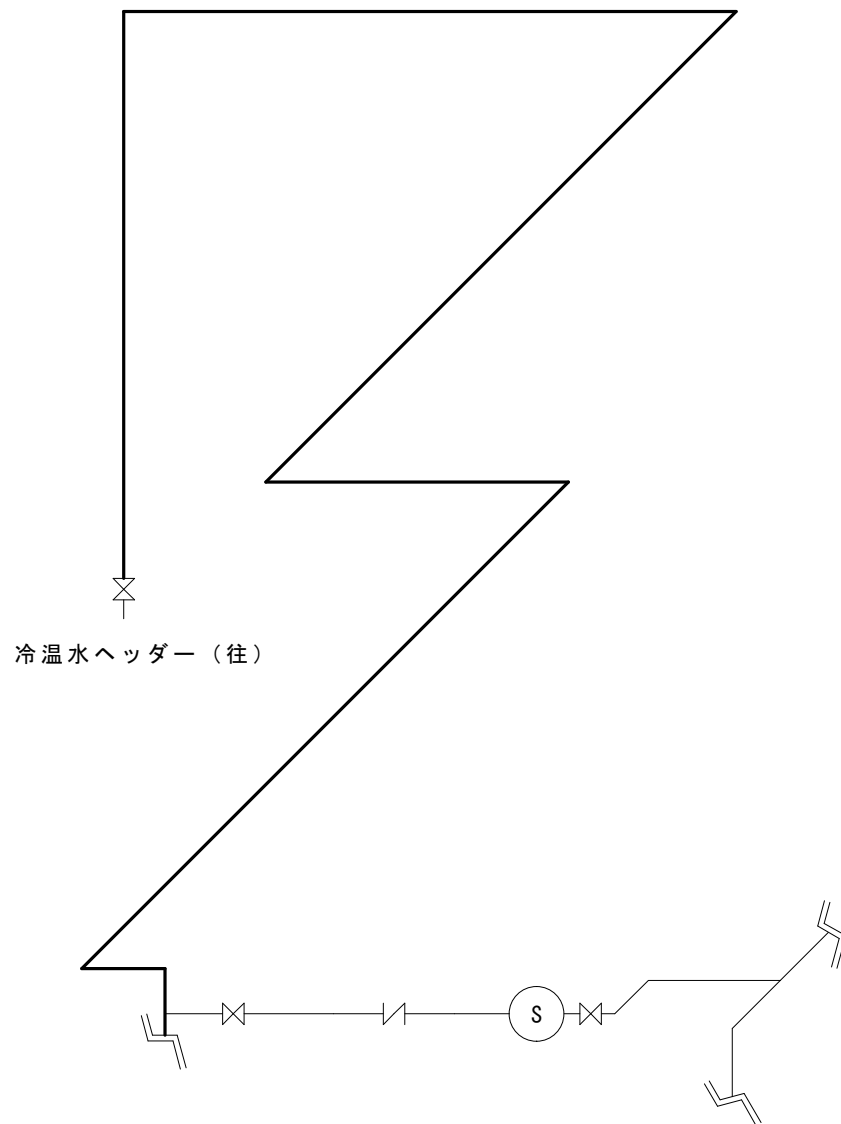
許可無く工事関係者以外
に図面を貸出、複製及び
閲覧させてはならない。

凡 例	
—	配管用炭素鋼鋼管（20A）
—	配管用炭素鋼鋼管（32A）

件 名	膨張タンク等補修工事				
図 面 名	配管系統図（配管新設 2）				
縮 尺	1/20	作 成 年 月	H8. 7	図面番号	10/11
基 地 名	武山分屯基地				

図 1 1 - 配管系統図 (配管保温 2)

18.



許可無く工事関係者以外
に図面を貸出、複製及び
閲覧させてはならない。

凡 例	
	配管保温 (32A) グラスウール・厚40m
※1. 保温筒、2. 鉄線、3. ポリエチレンフィルム、4. 鉄線、 5. アルミガラスクロス	

件 名	膨張タンク等補修工事				
図 面 名	配管系統図 (配管保温 2)				
縮 尺	1/20	作 成 年 月	H8. 7	図面番号	11/11
基 地 名	武山分屯基地				